

一般質問

こしば 新 議員
(自 民)



障害者の超短時間雇用の促進

問 予算化された超短時間雇用の取組とスケジュールについて。

答 年末にかけて東京大学先端科学技術研究センターが区内の就労環境を分析し、結果について区と情報を連携し基盤づくりを行っていく。来年早々には企業へのアプローチを開始し、令和6年度のモデル実施を目指す。

超短時間雇用に向けて事業主との

問 間に入るコーディネーターの拡充を民間のノウハウ、人材を含めて検討して頂きたいが、ご所見を。

答 就労を希望する障害者の方とのマッチングを行うコーディネーターが必要。拡充に向けて検討する。

高齢者の元気なまちづくり

問 区内の公園にある健康遊具を広く展開してもらいたいが見解を。

答 公園の改修に合わせて周辺の公園における設置状況を踏まえつつ、高齢者を含めて幅の広い年代の方々が気軽に運動できる場の創出に努めていく。

ペットとの共生社会に向けて

問 ドッグラン常設化を目指し、まずは区内公園にドッグランを試験的に展開し、地域が受け入れていく環境を創り出していくかが。

答 恒久的なドッグランの検討の前段階として、試験的な仮設ドッグランの設置を検討していく。

犯罪から区民の安全を守る

問 公衆トイレでの事件をなくすため全ての共用トイレ・女子トイレに防犯機能を整備することで安全に安心して利用できる環境を。

答 全てのトイレへの緊急ボタンの設置は防犯面でも効果のある取組であると考え。トイレの立地や利用状況等を踏まえつつ、設置について検討していく。

口の健康が体の健康を支える

問 歯科健診の受診率の低さに対する区の見解を。

答 歯科医師会と協議、有効な対策を行っていく。
(その他の質問)
・移動が困難な方への外出支援

一般質問

つる 伸一郎 議員
(公 明)



「区民の幸福(しあわせ)」を創る品川区について

問 事務事業評価の評価基準等については。

答 指標の達成状況、必要性や有効性効率性等を勘案し、定量的な数値実績に基づき、客観的に評価する。

「誰一人取り残さない」区民サービスについて

問 産後ケアの対象期間、利用回数の拡大、利用料減免の拡充をしては。

答 まずは利用回数の拡充に取り組む。期間の延長や利用料減額は国の動向や区民ニーズも踏まえ検討する。

問 乳腺炎の療養支援として、保険適用外となる5回目以降の費用を区が助成する仕組みをつくっては。

答 まずは現状把握と情報収集を行い研究する。
重層的支援体制整備事業と孤独・

答 孤立対策推進法に基づき、どのように体制を整備するのか。

孤立対策推進法に基づき、どのように体制を整備するのか。

問 推進法の成立を受け、本年度改定予定の地域福祉計画に位置付ける必要がある。孤独・孤立に悩む幅広い世代に対しての基本的施策の体系化や、地域協議会の在り方についても検討を重ねる。

答 「ゆうゆうプラザ」などで認知症予防にも効果のある「eスポーツ」を通じて多世代交流を図っては。

問 認知症カフェや「ゆうゆうプラザ」などでの実施を検討する。

答 100歳の方をはじめ、高齢者の人生経験インタビューを「広報しながわ」に掲載しては。

問 広報紙への掲載についても併せて検討する。

答 誰もが安全と安心を体感できる品川区について

問 個人の住宅への録画機能付防犯カメラなどの設置助成をしては。

答 窓口でも補助対象になるかの問い合わせが増えてきている。補助対象の拡大について調査研究する。

熱中症対策について

問 マイボトル用給水機を設置箇所の大幅な拡大や設置時期の前倒しは。

答 熱中症対策の効果的な予防方法の検討と併せ、取り組む。

区政をきく (一般質問)

令和5年第2回定例会では、区政全般について、10名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

一般質問

6月29日(木)	こしば 新 議員(自 民)	つる 伸一郎 議員(公 明)	松永 よしひろ 議員(未 来)	中塚 亮 議員(共 産)	西本 たか子 議員(無所属)
6月30日(金)	塚本 よしひろ 議員(公 明)	澤田 えみこ 議員(自 民)	吉田 ゆみこ 議員(未 来)	藤原 正則 議員(品 改)	石田 秀男 議員(無所属)

会派名は次の略語で記載しています。

自 民…品川区議会自民党・無所属の会	公 明…品川区議会公明党
未 来…しながわ未来(無所属・立憲・ネット)	共 産…日本共産党品川区議団
品 改…品川改革連合	維 新…品川区議会日本維新の会

一般質問とは

議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。各定例会で行われます。